

現場説明書

- 1 工 事 名 秋谷漁港舗装補修その他工事
2 監 督 員 港湾部 港湾整備課

説明事項

1. 入札等に関する事項について

- (1) この工事の入札又は見積(以下「入札等」という。)は、工事請負契約書又は工事請負請書(以下「契約書等」という。)、入札公告又は指名競争入札執行通知書及びこの説明書に記載する条件により、横須賀市の契約規則、契約履行規則及び工事等検査規則(以下「契約規則等」という。)に従って行う。
- (2) 入札等後は、設計書、仕様書及び図面(この説明書及び質問回答書を含む。以下「設計図書」という。)、契約書等若しくは契約規則等の内容又は工事場所の状況について、不明等を理由として異議の申立てはできないので、入札等前に十分究明すること。

2. 契約の保証について

契約の保証 要 不要

契約の保証を付す場合は、落札者は、契約書等の案を提出するとともに、次の各号のいずれかの書類を提示又は提出すること。ただし、契約保証金の額、保証金額又は保険金額は、請負代金額の100分の10以上とすること。

- (1) 契約保証金の納付を証する領収書
(2) 契約保証金に代わる担保としての国債又は地方債等
(3) 債務の不履行により生ずる損害金の支払を保証する銀行、市長が確実と認める金融機関又は公共工事の前払金保証事業に関する法律(昭和27年法律第184号)第2条第4項に規定する保証事業会社の保証書
(4) 債務の履行を保証する公共工事履行保証証券による保証証券
(5) 債務の不履行により生ずる損害をてん補する履行保証保険契約の証券

3. 前払金について

前払金 する しない

前払金を受けようとする場合は、その旨を申し出ること。

4. 中間前払金について

中間前払金 する しない

中間前払金を受けようとする場合は、申請手続が必要なので、要件を満たした旨を申し出ること。

5. 部分払について

部分払 する(一回以内) しない

6. 継続事業に係る工事の各会計年度別支払限度額及び前払金について

- (1) 継続事業に係る工事の各会計年度における請負代金額の支払限度額及び前払金の上限割合は、次のとおりである。

会計年度	支払限度額 (請負代金額に対する割合)	前払金の上限
初年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の%
第2年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の%
第3年度(年度)	%	支払限度額・請負代金額の%

- (2) 各会計年度における請負代金額の支払限度額は、請負者決定後工事請負契約書を作成するまでに請負者に通知する。

7. 契約に関する事項について

(1) 設計図書関係

- ア 土木工事等の場合における工種別等の契約数量は、設計書の数量の内訳書に表示された数量による。
- イ 仮設、工法等工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、設計図書に特別の定めがある場合を除き、請負者の責任において定めること。
- ウ 契約の締結にあたっては、契約書等に設計図書を袋とし、割印をすること。ただし、図面が大型等の場合にあつては、別冊とすること。

(2) 提出書類関係

- ア 請負代金内訳書 ~~要提出(契約締結後7日以内)~~
提出不要
- イ 工 程 表 要提出(契約締結後7日以内)
~~提出不要~~
- ウ 着 手 届 着手後5日以内に提出すること。
- エ 現場代理人及び主任技術者等届 契約までに現場代理人及び主任技術者等の経歴書も同時に提出すること。
- オ 下請負関係書類 下請負を発注の都度、下記書類の写しを提出すること。
 - ・ 施工体制台帳
 - ・ 施工体系図
 - ・ 再下請負通知書（再下請負の発注がある場合）
- カ 直 営 工 事 届 下請負を発注しない又はその予定がない場合は、遅滞なく提出すること。

(3) 監督員通知関係

監督員を2人以上置くこととした場合において、権限を分担させるときは、各監督員の権限の内容を別に通知する。

(4) 支給材料、貸与品関係

- ア 支 給 材 料 ~~あり~~ なし
- イ 貸 与 品 ~~あり~~ なし

(5) 条件変更等の関係

工事の施行に当たり、設計図書と現場の状態とが一致しないこと等の事実を発見したときは、単に事実関係のみでなく、設計図書の訂正に必要な資料、図面等を添付した書面で通知すること。

(6) 設計変更等の関係

必要により工事内容を変更する場合は、原則としてその必要が生じた都度契約変更の手続を行うが、軽微なものは監督員の指示により工事内容の変更を行い、これに伴う契約変更の手続は、工期の末に行う。

(7) 部分引渡し関係

- 部分引渡し指定部分 ~~あり~~ なし

(8) 火災保険等の関係

- 火災保険その他の保険の付保条件 ~~あり~~ なし

8. 現場代理人の常駐義務について

請負代金額が500万円以上の工事について現場代理人は常駐とするが、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 工事 > 入札制度関連情報<工事> において、重複配置の特例がある場合は兼務することができる。

9. コリンズの登録について

請負者は、受注時又は変更時及びしゅん工時において請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報サービス(CORINS)入力システムに基づき、監督員に登録内容の確認を受けた後に、(一財)日本建設情報総合センターに登録申請しなければならない。

また、(一財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が請負者に届いた際には、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。

登録申請の期限は、次のとおりとする。

- (1) 受注時登録データの提出期限は、契約締結後10日以内とする。
- (2) しゅん工時登録データの提出期限は、しゅん工後10日以内とする。
- (3) 施工中に受注時登録データの内容に変更があった場合は、変更があった日から10日以内に更新データを提出しなければならない。
- (4) 変更時としゅん工までの間が10日間に満たない場合は、監督員の承諾を得て変更時の提出を省略できるものとする。

10. 建設業退職金共済制度への加入について

- (1) 請負者は、建設業退職金共済制度(以下「建退共制度」という。)に加入するとともに、その対象となる労働者について証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に証紙を貼付すること。
- (2) 証紙購入状況等を把握するため、当初工事請負契約代金額が500万円以上の場合は、別に定める「建設業退職金共済関係提出書」(第1号様式(建退共))及び「建設業退職金共済証紙貼付実績報告書」(第3号様式(建退共))を工事しゅん工時に、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第2号様式(建退共))を工事請負契約締結後1箇月以内に監督員へ提出すること。

共済証紙を購入した場合は、「建設業退職金共済証紙購入状況報告書」(第2号様式(建退共))に掛金収納書(以下「収納書」という)を添付すること。

なお、当初工事請負契約金額が500万円未満の場合においても本市が証紙購入状況を把握する必要があると認めるときは、関係資料の提出を求める場合がある。

- (3) 正当な理由がなく建退共制度に加入せず、又は証紙の購入若しくは貼付が不十分な請負者は、工事成績評定において考慮される事となる。
- (4) 下請契約における請負者に対してこの制度の趣旨を説明し、掛金相当額を請負代金中に算入するか、又は共済証紙の現物交付をすることにより、建退共制度加入並びに証紙の購入及び貼付の促進に努めること。
- (5) 前号における請負者の規模が小さく、管理事務の処理面で万全でない場合は、元請負者に建退共制度加入手続及び建退共制度関係事務の処理を委託する方法もあるので、元請負者は積極的に受託するよう努めること。
- (6) 請負者は、工事現場に建退共制度適用事業主の工事現場であることを明示する標識を掲示すること。

11. 施工計画書の提出について

(1) 施工計画書の作成

請負者は、契約後速やかに監督員の指示に従って施工計画書を作成し提出すること。ただし、監督員が別に指示する場合を除いて、次のいずれかに該当する工事については、提出を要しない。

- ア 当初請負代金額が500万円未満の工事、又は当初工期が60日未満の工事
- イ 契約後、直ちに現場着手を要する等の緊急工事
- ウ 工事内容に基づき、監督員が提出を要しないと判断した工事

(2) 施工計画書の記載事項等

施工計画書等記載事項は、横須賀市ホームページ > 入札の広場 > 検査情報に記載（別表）のとおりとする。ただし、請負者は、施工計画書の提出を不要とした工事であっても、監督員が必要と指示する書面を速やかに提出すること。

(3) 計画工程表の作成

請負者は、計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督員と協議を行うこと。

(4) 実施工程との比較照査

請負者は、工事施工中において、問題が発生した場合又は計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。

12. ワンデーレスポンスの取り組みについて

- (1) 本市では、請負者からの質問、協議に対して、基本的に「その日のうち」に回答するよう、ワンデーレスポンスに取り組んでいる。

なお、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを請負者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。

- (2) 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、請負者は協力すること。

13. 中間及び抜打ち状況調査の実施について

中間状況調査又は抜打ち状況調査は、検査員が随時行う。この場合、請負者は調査に協力しなければならない。

14. 下請負者について

- (1) 下請負者を使用する場合には、市内業者を優先的に選定するように配慮すること。
- (2) 下請契約を締結する際は、当該下請負者に対して法定福利費の内訳が明示された国の標準見積書等の提出を指導するとともに、提出された場合は尊重し、適切な法定福利費を含んだ契約を締結すること。

15. 一括下請けの禁止について

請負者は、本工事の全部若しくはその主たる部分又は他の部分から独立してその機能を発揮する工作物の工事を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。

16. 技術的事項について（別紙）

特記仕様書

1 工事名

秋谷漁港舗装補修その他工事

2 工事概要

秋谷3号物揚場

構造物撤去工 1 式

取壊し工 1 式

本体工 [場所打式] 1 式

水中コンクリート工 1 式

上部工 1 式

上部コンクリート工 1 式

秋谷2号防波堤

上部工 1 式

上部コンクリート工 1 式

用地舗装 1 式

土工 1 式

土工 1 式

付属工 1 式

取付管設置工 1 式

路側工 1 式

舗装工 1 式

アスファルト舗装工 1 式

3 施工場所

横須賀市秋谷1丁目127番地先

4 工期 (90 日間)

自 令和 年 月 日

至 令和 年 月 日

5 工事仕様

本特記仕様書に定めのない事項については、「漁港漁場関係工事共通仕様書(全国漁港漁場協会)」及び「神奈川県土木工事共通仕様書」によるものとし、当該共通仕様書の共通編等における契約条項等は、本市の契約条項等に読み替えて使用する。

ただし、使用材料等の基準が改正された時は、新基準に基づくものとする。

なお、特記仕様書を最優先するものとする。

6 下検査の実施について

しゅん工検査前に、現場代理人が立会いの上、港湾整備課の実施する下検査を受けなければならない。

7 工事基準面について

本工事の工事基準面は、東京湾平均海面-1.130mとする。

8 許可申請書について

工事施工上必要な官公署、その他機関に対する手続き及び交渉等は、本市が折衝にあたる必要があると認める以外は、請負者が連絡を取り十分な協調を保つとともに、工事現場付近の市民に対する周知を行うこと。

9 工事コストの表示について

当初請負金額1,000万円以上の工事においては、工事標示看板に工事費として当初請負金額（万円単位）を表示すること。ただし、変更契約時に看板の工事費表示を変更する必要はない。記載例「工事費1億2,500万円」

10 施工管理について

本工事の施工管理の方法、品質及び出来形の規定値は、全国漁港漁場協会発行の「漁港漁場関係工事共通仕様書（最新版）」及び神奈川県発行の「土木工事施工管理基準（最新版）」によるものとし、監督員の指示に従い施工管理を行うものとする。ただし、使用材料等の基準が改正されたときは、新基準に基づくものとする。

11 法定外の労災保険について

本工事の現場管理費には、法定外の労災保険の経費を含んでいるので、その写しを提出すること。

12 無石綿（アスベスト）化への対応

本工事で使用する建材は、石綿を原材料としていないものを用いて施工すること。また、下請負者を使用する場合は、同様の内容を周知し、徹底を図ること。

13 熱帯材使用型枠の削減について

本目的は、地球環境保全の観点から、従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板（熱帯材100%のもの）を代替型枠材料（鋼製型枠、針葉樹型枠、複合型枠等）へ転換することにより、熱帯材使用型枠の使用量を削減し、熱帯材の保全に寄与することを目的とする。

- (1) 従前使用されていた熱帯材を原料とするコンクリート型枠用合板（熱帯材100%のもの）は使用しないものとする。請負者は、これに替わる代替型枠の選定にあたっては、地球環境保全に配慮するとともに、その工事の作業条件等により、請負者の責任と費用負担により選択するものとし、代替型枠について、施工計画書に記載するものとする。

- (2) コンクリート型枠用合板(針葉樹型枠、複合型枠)を使用する場合は、塗装されたものを極力使用し、その型枠の転用の増加を図るものとする。
また、最終的な型枠材料の処理としては、できるだけ再利用等を図るなどして資源のムダ使いを無くすよう努めるものとする。

14 建設リサイクル法について

平成14年5月30日施行「建設リサイクル法」に基づき、必要な書類を工事主管課に提出すること。ただし、請負金額が500万円未満の場合は、不要とする。

15 出来形について

出来形については、管理図により出来形図表を作成するとともに、設計図に朱色で完成寸法を入れた資料を提出すること。

16 しゅん工図について

- (1) A3判しゅん工図(しゅん工書類に添付)
- (2) しゅん工図面をCDに記録し提出すること。

なお、CDへの記録は(1)の図面を原寸のまま400dpiでスキャンし、PDF形式にて記録すること。またCD表面には「施工年度」、「工事名称」、「請負者名」、「監督員名」を記入すること。詳細は監督員の指示に従うこと。

17 工事写真帳について

- (1) 撮影の仕様については、デジタル写真(カラー)とする。
なお、有効画素数を100万画素程度とし、目的物及び黒板の文字等が確認できる範囲で適切な有効画素数を設定すること。
- (2) 工事写真帳は、(A4縦3段)を使用する。
なお、2冊以上になる場合には、(2の1)、(2の2)と明記すること。
また、表紙に、工事名・工事場所・工期・発注者名・施工者名を記入し社印を押印し、背表紙をつけること。
- (3) 工事写真帳とともに、電子データ「CD」を提出すること。
なお、CDのラベル表記については、工事写真帳の表紙と同様にすること。
ただし、背表紙は不要とする。
- (4) 上記提出方法以外で工事写真帳を提出する場合は、監督員の承諾によるものとする。

18 しゅん工検査時に必要な書類について

横須賀市ホームページ>市政情報>契約・検査>検査情報>工事関係書類>土木工事関係書類一覧表(令和5年4月改定)を参照し作成すること。

なお、上記一覧表以外の書類については、監督員の指示によるものとする。

19 その他

- (1) 本仕様書及び本仕様書に記載無き事項で疑義が生じた場合は、監督員と協議の上決定すること。
- (2) 本工事に使用する剥離剤は、水溶性のものを使用すること。

建設副産物実態調査に係る特記仕様書

- 1 元請業者は、当該年度に終了した最終請負額が100万円以上（税込）の工事（調査対象となる建設資材の利用及び建設副産物の発生・搬出がない工事は除く）は、次項の建設副産物実態調査作業手順にもとづき調査データを提出するものとする。ただし、複数年度にまたがる債務工事等の工事額は、当該年度の年割り額を記入し、工事内容は当該年度分の資材利用量、建設副産物発生量・搬出量のみを記入する。

本調査の対象品目は、表1の通りである。

表1 調査対象品目

対象	調査対象品目	備 考
搬入する建設資材	コンクリート	
	コンクリート及び鉄から成る建設資材	
	木材	
	アスファルト混合物	
	土砂	
	砕石	
	塩化ビニル管・継手	
	石膏ボード	
	その他の建設資材	
搬出する建設副産物	コンクリート塊	
	建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、解体木くず、新築端材木くず等が該当する。
	アスファルト・コンクリート塊	
	その他がれき類	
	建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）	建設発生木材等のうち、建設工事（工作物の新築、改築又は除去に係るものに限る。）に伴って副次的に得られる伐木材、伐根材が該当する。
	建設汚泥	
	混合状態の廃棄物（建設混合廃棄物）	現場へ搬出する状態で判断し、発生と搬出の間に分別された場合には、分別後の品目が発生したものとみなす。
	金属くず	
	廃塩化ビニル管・継手	
	廃プラスチック（廃塩化ビニル管・継手を除く）	
	廃石膏ボード	
	紙くず	
	アスベスト（飛散性）	
	その他の分別された廃棄物	
第一種～第四種建設発生土及び浚渫土（建設汚泥を除く）		

2 建設副産物実態調査の作業手順は、次のとおりとし、元請業者が行うものとする。

- (1) 一般財団法人日本建設情報総合センターのホームページ<http://www.recycle.jacic.or.jp/>から建設副産物情報交換システムにログインする。
システムの操作方法については、「各種マニュアル」ページ内の「建設副産物情報交換システム」の操作マニュアル「排出事業者用」を参照する。
- (2) 当初契約時点でのデータを入力する。（「再生資源利用(促進)計画書—建設リサイクルガイドライン様式—」の作成）
- (3) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(計画)」を印刷し、監督員に提出する。
- (4) 建設副産物情報交換システムから出力する等して、「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成し、施工計画書に添付するとともに監督員に提出して説明すること。
- (5) 受注者は再生資源利用促進計画書および再生資源利用計画書を工事現場の公衆が見やすい場所に掲示すること。
- (6) 工事完成時に実施書（最終データに修正）に書き換える。
- (7) 各種書類の印刷により、「チェックリスト」を出力し、必須エラーが発生していないことを確認する。
- (8) 工事検索画面から当該工事を検索し、「登録証明書の印刷」により「建設副産物情報交換システム工事登録証明書(実施)」を印刷し、監督員に提出する。
- (9) 建設副産物情報交換システムから出力する等して、「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出するとともに、その内容を報告すること。
- (10) 再生資源利用促進計画(実施)書及び再生資源利用計画(実施)書は、5年間保存すること。
- (11) 建設副産物情報交換システムに工事情報を登録した場合は、建設リサイクル法に基づく再資源化報告書は監督員に提出されたものとみなす。

3 データ入力上の留意点

(1) 建設発生土の入力値について

建設発生土については、埋戻しなどのように、現場内利用がある場合には、建設副産物発生・搬出（一種発生土～浚渫土）には、「地山 m^3 」で入力し、建設資材利用（土砂）には、「締め m^3 」（表2、土量の変化率Cを考慮）で入力する。

表2 土量の変化率C

レキ質土		砂質土及び砂		粘性土		岩塊 玉石
レキ	レキ質土	砂	砂質土 (普通土)	粘性土	高含水比 粘性土	
0.95	0.90	0.95	0.90	0.90	0.90	1.00

軟岩 I	軟岩 II	中硬岩	硬岩 I
1.15	1.20	1.25	1.40

(例)

掘削 100 m^3

埋戻し 20 m^3 (締め m^3)・・・「土砂 建設資材 利用量(A)」欄に入力する。

22 m^3 (地山 m^3)・・・「一種発生土～浚渫土 ②利用量」欄に入力する。

20 m^3 / 変化率C (仮に0.9とする) = 22 m^3

処分 78 m^3 (地山 m^3)・・・「一種発生土～浚渫土 ④現場外搬出量」欄に入力する。

$$100 \text{ m}^3 - 22 \text{ m}^3 = 78 \text{ m}^3$$

(2) 建設資材利用について

ア 建設リサイクル資材を利用する場合は、建設資材利用の欄に以下の方法により入力する。

- ・表3にまとめる調査対象品目の分類ごとに建設リサイクル資材をそれぞれ入力する。建設リサイクル資材の品目名については、神奈川県建設リサイクル資材認定資材一覧表（以下、認定一覧表という）を参照する。

表3 調査対象品目と建設リサイクル資材品目名

調査対象品目(建設資材の「分類」)	建設リサイクル資材の品目名
土砂(建設汚泥処理土)	再生改良土
	再生流動性埋戻材
アスファルト・コンクリート	再生加熱アスファルト混合物
砕石	再生骨材等
コンクリート	再生コンクリート二次製品(無筋)※
	再生舗装用ブロック (平板、インターロッキングブロック、レンガブロック等)
コンクリート及び鉄から成る建設資材	再生コンクリート二次製品(有筋)※
木材	再生木質ボード
	再生集成材・合板
塩化ビニル管・継手	排水・通気用再生硬質塩化ビニル管

※再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が無筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート」に、再生コンクリート二次製品に該当する建設リサイクル資材が有筋コンクリートの場合、調査対象品目のうち「コンクリート及び鉄から成る建設資材」に入力する。

- ・「規格」は認定一覧表の「寸法・規格等」を入力する。
- ・「再生資材の供給元施設、工事等の名称」については認定一覧表の「製造工場」を入力し、「再生資材の供給元場所住所」については、認定一覧表の製造工場の住所を入力する。
- ・「再生資材利用量」は、利用量と同じ値を入力する。

イ 新材を利用する場合は、調査対象品目の中で箇所を変えて入力する。また、その際の「再生資材利用量」には0を入力する。

ウ RC-10（再生砂）を利用する場合は、「土砂」の「再生コンクリート砂」欄に入力する。

(3) 建設副産物発生・搬出（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材 A・B、建設汚泥、建設発生土（第一種～第四種建設発生土及び浚渫土））について

ア コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊を神奈川県コンクリート塊等処理指定工場に搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

イ 建設発生木材等のうち解体木くず、新築端材木くずを神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材A（柱、ボードなどの木製資材が廃棄物になったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

ウ 建設発生木材等のうち伐木材、除根材を神奈川県建設発生木材等再資源化指定事業者の指定施設に搬出する場合は、「建設発生木材B（立木、除根材などが廃棄物となったもの）」欄に入力することとし、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

エ 建設汚泥を一部であっても改良土等に処理している施設などに搬出する場合は、「搬出先の種類のコード」を「5 中間処理施設（合材プラント以外の再資源化施設）」と選択する。

オ 再利用が決まっている建設発生土を仮置き場に搬出する際は、「搬出先の種類のコード」を「5 工事予定地・仮置場・ストックヤード(再利用の目的がある場合)」と選択する。

施工条件明示事項

1. 当該工事の施工条件明示事項は、下記表□内の黒塗り部分が対象となる。ただし、明示されているものは特に必要なものであり、全てに対して明示されているものではない。
2. なお、請負者は下記明示事項やそれ以外に該当すると思われるもので、明示されていない場合には、その都度監督員と協議するものとする。

明示項目	明 示 事 項
<input checked="" type="checkbox"/> 工程関係	<input type="checkbox"/> 他の工事の開始又は完了の時期による影響 <input type="checkbox"/> 施工時期、施工時間及び施工方法の制限（準備工期の設定等） <input type="checkbox"/> 関係機関等との協議の未成立 <input checked="" type="checkbox"/> 関係機関等との協議条件による影響 <input type="checkbox"/> 地下埋設物、埋蔵文化財等の事前調査及び移設期間 <input type="checkbox"/> 設計上、見込んでいる休日日数等以外の作業不能日数
<input type="checkbox"/> 用地関係	<input type="checkbox"/> 工事用地等の未処理部分 <input type="checkbox"/> 工事用仮設道路・資機材置き場用の民有地等の借地 <input type="checkbox"/> 発注者が借り上げた土地の使用 <input type="checkbox"/> 工事用地等の使用終了後における復旧内容
<input checked="" type="checkbox"/> 周辺環境関係 （公害、排水等）	<input type="checkbox"/> 工事に伴う公害防止（騒音、振動、粉塵、排出ガス等）対策 <input type="checkbox"/> 水替え・流入防止施設 <input type="checkbox"/> 濁水、湧水等の処理対策 <input checked="" type="checkbox"/> 事業損失防止関係
<input checked="" type="checkbox"/> 安全対策関係	<input type="checkbox"/> 交通安全施設等の指定 <input type="checkbox"/> 近接工事での施工方法、作業時間等の制限 <input type="checkbox"/> 落石、土砂崩落等に対する防護施設 <input checked="" type="checkbox"/> 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置 <input type="checkbox"/> 有毒ガス及び酸素欠乏等の換気設備等対策
<input type="checkbox"/> 工事用道路関係	<input type="checkbox"/> 工事用資機材等の搬入経路、使用期間等の制限 <input type="checkbox"/> 搬入路の使用後及び使用後の処置 <input type="checkbox"/> 仮設道路の設置 <input type="checkbox"/> 一般道路の占用
<input type="checkbox"/> 仮設備関係	<input type="checkbox"/> 仮設物（仮土留、足場等）の他の工事への転用若しくは兼用 <input type="checkbox"/> 仮設備の構造及び施工方法の指定 <input type="checkbox"/> 仮設備の設計条件の指定
<input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物関係	<input type="checkbox"/> 残土の受け入れ及び仮置き場所までの距離、時間等の処分条件 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物の現場内での再利用及び減量化 <input checked="" type="checkbox"/> 建設副産物及び建設廃棄物の処理
<input type="checkbox"/> 薬液注入関係	<input type="checkbox"/> 薬液注入工法の施工 <input type="checkbox"/> 周辺環境への調査
<input type="checkbox"/> 工事支障物件等	<input type="checkbox"/> 占用物件の有無及び占用物件等による工事支障物の存在 <input type="checkbox"/> 地上、地下等の占用物件工事との重複施工
<input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 工事用資機材の保管及び仮置き <input type="checkbox"/> 工事現場発生品 <input type="checkbox"/> 支給材料及び貸与品 <input type="checkbox"/> 関係機関・自治体等との近接工事協議に係る条件等 <input type="checkbox"/> 架設工法の指定 <input type="checkbox"/> 工事用水、電力等の指定 <input type="checkbox"/> 新技術・新工法・特許工法の指定 <input type="checkbox"/> 部分使用 <input type="checkbox"/> 給水の必要 <input type="checkbox"/> 電子納品対象工事特記仕様書

施工条件明示

■工程関係

1. 関係機関等との協議条件による影響

本工事施工箇所は、漁港区域内であるため、施工にあたっては湘南漁業協同組合佐島支所及び関係機関と事前に協議、調整を行い実施すること。

■周辺環境関係

2. 事業損失防止関係

水質汚濁防止膜について
水中コンクリート打設時は、汚濁防止膜を使用すること。
汚濁防止膜:鉛直方向1m、カーテン生地引張強度 1,000 以上 2,000 未満(N/3cm)
施工にあたっては汚濁防止に努めるものとする。なお、構造等については事前に監督員の承諾を得るものとする。

■安全対策関係

3. 交通誘導警備員、警戒船等の保安設備、保安要員の配置

交通誘導警備員については、警備業法による警備員とし、配置場所については監督員と協議するものとする。なお、警備員は鋼製型枠等資機材搬入搬出時、コンクリート殻搬出時、水質汚濁防止膜搬入搬出時、各コンクリート打設時、路盤工施工時、As 舗装施工時に1日当たり2人を見込んでいるが、関係機関等の協議により変更が生じた場合は別途協議する。

■建設副産物関係

4. 建設副産物の現場内での再利用及び減量化

本工事においては下記のとおり、再生資材を使用するものとする。

資 材 名	規 格	用 途
再生加熱アスファルト混合物	再生密粒度 As(13)	表層工
再生クラッシャーラン	Rc-40	路盤工

なお、使用に際し品質が適正なものであるか確認するものとする。

5. 建設副産物及び建設廃棄物の処理

本工事の施工により発生する建設副産物の処理については以下のとおりとする。

種類	受入れ場所	運搬距離
コンクリート殻	県で登録を受けた工場	3.3km 以下
廃プラスチック	県で登録を受けた工場	11.5km 以下

1. 処分は上記内容で積算をしている。
2. 建設副産物の搬出に際しては、再生資源の活用の促進に関する法律に基づく再生資源利用促進計画書(実施書)を作成し監督員に提出しなければならない。

積算諸条件調書に係る追加事項

※次の1～10該当する場合は考慮すること

1 市独自単価及び積算における補足資料について

本設計積算書内（市独自単価一覧表）に記載の資材単価のうち単価金額が記載されていない資材単価は、「ホームページ(工事積算情報)」の「市独自単価 刊行物等掲載単価 コード一覧表」を参照してください。又当該頁に併せて積算における補足資料も掲載しています。

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5510/koujitousekisann.html>

2 港湾・漁港工事積算基準コード対応について

港湾請負工事積算基準を適用している場合は、独自のコードを使用している。

出典などを記載した対応表を港湾部のホームページで公開している。

https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/5830/minato/kensetu/kouwan_tanka.html

3 単価表コードについて

設計積算書の各単価表コードは、以下のとおりである。

港湾請負工事積算基準適用：DH…, DHG…, DHT…, CH…

神奈川県土木工事標準積算基準書適用：WB…, CB…, WK…, D…, CD…

下水道用設計標準歩掛表適用：DKG…, DKK…

なお、神奈川県土木工事標準積算基準書を使用する場合は、神奈川県土木工事標準積算基準書の施工単価入力基準表のコードに適用している。

4 市場単価の端数処理について

市場単価方式による単価表の加算・補正後の金額は、円止めとする。

なお、単価補正が行われた場合の単価は、小数点以下第2位（少数点以下第3位四捨五入）まで計算し、数量×単価＝金額を算出している。

5 土砂検定費について

単価には、諸経費、技術料及び報告書作成の一切の費用を含むため、その他の間接費の対象となりません。

6 共通仮設費の対象外となる桁等購入費について

桁等購入費 あり なし

7 施工パッケージ積算のタイヤ損耗費及び補修費への対応について

ダンプトラックの東京単価は、タイヤ損耗費及び補修費を含んだ金額が設定されているため、積算単価も建設機械等損料表の損料金額にタイヤ損耗費及び補修費を加算した金額を計上している。

8 仮設材質料の補正について

供用月当り賃料区分が変わることにより、日数の増加に比例せず金額が減少する場合には、減少する時点の上限額として、減額補正をしている。

9 コンクリート単価について

生コンクリート「18-8(高炉)、水セメント比 65%以下」の規格を満足させるには、横須賀市生コンクリート協同組合各社において、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」となるため、積算では、「21-8(高炉)、水セメント比指定なし」の単価を計上している。

10 基準書等の適用について

- | | |
|------------------------------|-----------|
| (1) 港湾請負工事積算基準 | 令和5年度版 |
| (2) 漁港漁場関係工事積算基準 | 令和5年度版 |
| (3) 土木工事標準積算基準書(土木工事編 I, II) | 令和5年7月1日版 |
| (4) 積算参考資料(土木工事編) | 令和5年7月1日版 |
| (5) 土木工事標準積算基準(電気・機械編) | 令和5年7月1日版 |
| (6) 下水道用設計標準歩掛表 | 令和5年度版 |
| (7) 船舶および機械器具等の損料算定基準 | 令和4年度版 |
| (8) 建設機械等損料表 | 令和5年度版 |

令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)	
設 計 書 番 号	年度 05
事 業 所 名	横須賀市港湾部
(工 事 ・ 業 務) 名	秋谷漁港舗装補修その他工事
(工 事 ・ 業 務) 箇 所	横須賀市秋谷 1 丁目127番地先
(河 川 ・ 路 線 ・ 区 域) 名	
単 価 採 用 地 区 名	横須賀
事 業 区 分	
工 期	90 日間
設 計 金 額	(円)
	円
設 計 概 要	
(起 工 ・ 変 更) 理 由	

令和 05 年度 設 計 積 算 書 表 紙 (当 初)

<支出科目>

款	07 農林水産業費
項	02 水産業費
目	03 漁港管理費
節	14 工事請負費
細節	04 工事請負費 (維持・その他)

<合併区分情報>

合併処理設定	しない	
	区 分 1	
	区 分 2	
	区 分 3	
	区 分 4	
	区 分 5	
	区 分 6	
	区 分 7	
	区 分 8	
	区 分 9	

<全体金額情報>

	当初官積算額 (a)	当初請負額(b1)	今回変更官積算額 (c)	今回変更請負額	増減 (d)-(b1) or (b2)	備 考
		前回変更請負額(b2)		(d)=(b1)/(a)×(c)		
本工事費						
工事価格						
消費税等相当額						

令和 05 年度 積算諸条件調書 (当初)

経費等情報	主たる工種	【漁港】構造物工事		
	施工地域・工事場所区分	【漁港】市街地に係わる漁港漁場		
	現場環境改善費計上区分	計上しない		
	緊急工事による補正	補正しない		
	前払金支出割合	35%を超える場合		
	契約保証の方法	補正なし		
	間接工事費率補正 (上記「施工地域・工事場所区分」、「契約保証」以外で補正がある場合)			
	共通仮設費率補正	0.00%		
	現場管理費率補正	0.00%		
	一般管理費率補正	0.00%		
	間接労務費・工場管理費計上区分			
	漁港漁場 (港湾) 工事積算基準書 適用年版	令和05年度 適用		
	土木工事資材等単価表 適用年版	令和06年2月1日基準		
	係数ランク	ランク 3		
	週休割増補正区分	補正しない		
海上輸送補正	1.00			
積算数量等情報	名称	採用数量	単位	備考
	交通誘導警備員B	20	人	
	コンクリートポンプ車運転	1	日	SJ0030

(その他情報欄)

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
本工事費							
秋谷3号物揚場			1	式			
構造物撤去工			1	式			
取壊し工			1	式			第 0001 号 内訳書
本体工 [場所打式]			1	式			
水中コンクリート工			1	式			第 0002 号 内訳書
上部工			1	式			
上部コンクリート工			1	式			第 0003 号 内訳書
秋谷2号防波堤			1	式			
上部工			1	式			
上部コンクリート工			1	式			第 0004 号 内訳書
用地舗装			1	式			
土工			1	式			

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前 回 下段：今 回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
土工				式			第 0005 号 内訳書
			1				
付属工				式			
			1				
取付管設置工				式			第 0006 号 内訳書
			1				
路側工				式			第 0007 号 内訳書
			1				
舗装工				式			
			1				
アスファルト舗装工				式			第 0008 号 内訳書
			1				
直接工事費計				式			
			1				
共通仮設費計				式			
			1				
運搬費				式			第 0910 号 内訳書
			1				
事業損失防止施設費				式			第 0925 号 内訳書
			1				
安全費				式			第 0930 号 内訳書
			1				
共通仮設費 (率分)				式			【千円止】
			1				
純工事費				式			
			1				

本 工 事 費 内 訳 書

(上段：前回 下段：今回)

費目	工種	種別	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
現場管理費							
			1	式			【千円止】
工事原価							
			1	式			
一般管理費等							
			1	式			
工事価格							
			1	式			【万円止】
消費税及び地方消費税相当額							
			1	式			10.00%
本工事費計							
			1	式			

第0001号 内訳書
取壊し工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0010) コンクリート取壊し	1	式			第0001号下内
合 計					

第0002号 内訳書
水中コンクリート工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0020) 型枠	1	式			第0002号下内
(AMA0030) 漏えい防止	1	式			第0003号下内
(AMA0040) 水中コンクリート	1	式			第0004号下内
合 計					

第0003号 内訳書
上部コンクリート工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0050) 伸縮目地	1	式			第0005号下内
(AMA0060) コンクリート	1	式			第0006号下内
合 計					

第0004号 内訳書
上部コンクリート工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0070) 型枠					第0007号下内
	1	式			
(AMA0080) コンクリート					第0008号下内
	1	式			
合 計					

第0005号 内訳書
土工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0090) 掘削					第0009号下内
	1	式			
合 計					

第0006号 内訳書
取付管設置工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0120) 取付管 設置撤去					第0010号下内
	1	式			
合 計					

第0007号 内訳書
路側工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0110) 路側工					第0011号下内
	1	式			
合 計					

第0008号 内訳書
アスファルト舗装工

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0130) 下層路盤	1	式			第0012号下内
(AMA0140) 表層	1	式			第0013号下内
合 計					

第0910号 内訳書
運搬費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0040) 汚濁防止膜運搬	1	式			第0025号単価表
合 計					

第0925号 内訳書
事業損失防止施設費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0150) 水質汚濁防止膜	1	式			第0014号下内
合 計					

第0930号 内訳書
安全費

1 式

(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(AMA0100) 安全対策	1	式			第0015号下内
合 計					

第0001号 下位内訳書
AMA0010 コンクリート取壊し

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(WB824010) 構造物とりこわし					第0001号単価表
J01=無筋構造物, J02=機械施 工, J03=無し, J04=無し, J05=必要	4	m3			
(CH115010) コンクリートがら運搬					第0002号単価表
J01=コンクリート(無筋)構造物とりこわし, J02=機械 積込, J03=有り, J05=3.3km以下	4	m3			
(Z132597010) 廃材処理料 (東部地区) 無筋C○殻					
	4	m3			
合 計					
					円/式
	1	式			

第0002号 下位内訳書
AMA0020 型枠

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH143010) 鋼製型枠組立組外					第0003号単価表
J01=陸上施工, J02=1 回, J03=5 m2, J04=5 m2, J05=0.54 m2/枚, J06=ラフレレンクレン, J07=(油 圧伸縮シブ型)16t吊, J13=有り	5	m2			
合 計					
					円/式
	1	式			

第0003号 下位内訳書
AMA0030 漏えい防止

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH143020) 漏えい防止シート敷設	9	m2			第0006号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0004号 下位内訳書
AMA0040 水中コンクリート

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0010) 水中コンクリート打設（ポンプ車直接打設）	3	m3			第0007号単価表
(SJ0030) コンクリートポンプ車運転 ブーム式 90～110m3/h		日			第0008号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0005号 下位内訳書
AMA0050 伸縮目地

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH106180) 伸縮目地	5	m2			第0010号単価表
J01=発泡体系					
合 計					
	1	式			円/式

第0006号 下位内訳書
AMA0060 コンクリート

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113100) 人力舗設					第0011号単価表
J01=22.4 m2, J02=4.4 m3, J03=25cm以下, J04=有り, J05=22.4 m2, J06=30cm以下	22	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0007号 下位内訳書
AMA0070 型枠

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(SJ0020) 型枠組立組外(重力式)					第0012号単価表
	2	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0008号 下位内訳書
AMA0080 コンクリート

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH106190) コンクリート打設					第0013号単価表
J01=ミキ-車打設, J02=無筋	0.4	m3			
合 計					
	1	式			円/式

第0009号 下位内訳書
AMA0090 掘削

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CH112010) 掘削					第0014号単価表
J01=土砂, J02=上記以外(小規模), J05=標準	3	m ³			
合 計					
	1	式			円/式

第0010号 下位内訳書
AMA0120 取付管 設置撤去

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DKG01175) 硬質塩化ビニル管撤去工					第0015号単価表
J01=φ100mm	6	m			
(DKG01970) 取付管布設及び支管取付工(市場単価)					第0017号単価表
J01=管径 100mm, J02=5箇所未 満, J03=無, J04=無, J05=無, J06=有, J07=有, J08 =無	1	箇所			
(CB010410) 現場発生産品及び支給品運搬					第0018号単価表
J01=クレーン装置付2t級、吊能 力2.9t, J02=有り, J04=11.5km以下	0.01	t			
(UZA000380) 産業廃棄物処分費 廃プラスチック類					
	11	kg			
合 計					
	1	式			円/式

第0011号 下位内訳書
AMA0110 路側工

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(CB422540) 歩車道境界ブロック撤去					第0019号単価表
J01=再利用	3	m			
(CD422510W) 歩車道境界ブロック					第0020号単価表
J01=再利用設 置, J02=B種(180/205×250×600), J03=個/m, J0 4=再生クラッシュラン RC-40, J05=無し	3	m			
合 計					
	1	式			円/式

第0012号 下位内訳書
AMA0130 下層路盤

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113040) 路盤材敷均し転圧(人力)					第0021号単価表
J01=83 m2, J02=8.3 m3, J03=再生クラッシュラン, J04= %, J05=25 %, J06=%, J07=%, J08=%, J09=標 準, J10=1 層	83	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0013号 下位内訳書
AMA0140 表層

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH113210) 人力舗設					第0023号単価表
J01=密粒度アスファルトコンクリート, J02=5 cm, J03=2.20 t/m3, J04=表層・中間層施工前, J05=t ≤5cm	83	m2			
合 計					
	1	式			円/式

第0014号 下位内訳書
 AMA0150 水質汚濁防止膜

1 式 当り
 適用年版 T0602
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH190150) 汚濁防止膜設置	20	m			第0026号単価表
(DH190160) 汚濁防止膜撤去	20	m			第0027号単価表
(SJ0050) 汚濁防止膜賃料	1	式			第0028号単価表
合 計					
	1	式			円/式

第0015号 下位内訳書
 AMA0100 安全対策

1 式 当り
 適用年版 T0602
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DH190270) 巡視・保安	1	式			第0029号単価表
J01=20 人					
合 計					
	1	式			円/式

第0001号 単価表
WB824010 構造物とりこわし

1 m3 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q001611001) 無筋構造物 昼間 機械施工 制約無	1	m3			[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ [1]	1	式			
合 計					
	1	m3			円/m3
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 構造物区分	1		無筋構造物		
J02 工法区分	1		機械施工		
J03 時間的制約の有無	1		無し		
J04 夜間作業の有無	1		無し		
J05 低騒音・低振動対策	1		必要		

第0002号 単価表 機労材構成比情報
CH115010 コンクリートガラ運搬

1 m3 当り
適用年版 T0602

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級	M304076000		【損料】		M302590000
運転手(一般)	R0115				R0115
軽油	Z305010250				Z305010250
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り			円/m3
条 件 名 称		入 力 値		条 件 値	
J01 殻発生作業	1		コンクリート(無筋)構造物とりこわし		
J02 積込工法区分	1		機械積込		
J03 DID区間の有無	2		有り		
J05 運搬距離	2		3.3km以下		

第0003号 単価表
DH143010 鋼製型枠組立組外

100 m2 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DHT20850) ラフレレンクレン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型)		日			第0004号単価表 [1]
(DHT20850) ラフレレンクレン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型)		日			第0004号単価表 [1]
(DHT11482) 潜水土船D 270PS型 3~5t吊		日			第0005号単価表 [1]
(R0125) 土木一般世話役		人			[1, 2]
(R0133) 型わく工		人			[1, 2]
(R0101) 特殊作業員		人			[1, 2]
(R0102) 普通作業員		人			[1, 2]
(L301800100) 型枠賃料	100	m2	【賃料】		[1]
(ZS7H10230) 消耗費 労務費の% $\Sigma [2] * 0.15$	1	式			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% $\Sigma [1] * 0.005$	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工区分	1		陸上施工		
J02 サイクル数	1		1 回		
J03 型枠全面積	5		5 m2		
J04 搬入型枠面積	5		5 m2		

第0003号 単価表
DH143010 鋼製型枠組立組外

100 m2 当り
適用年版 T0602

J05 型枠1枚当り面積	0.54	0.54 m2/枚
J06 陸上クレーン類の種類	1	ラフテレンクレーン
J07 ラフテレンクレーンの規格	1	(油圧伸縮ジブ型) 16t吊
J13 材料置場の有無	2	有り

第0004号 単価表
DHT20850 ラフテレンクレーン(排出ガス対策型)(油圧伸縮ジブ型) 16t吊

1 日 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(L301010250) ラフテレンクレーン[油圧伸縮ジブ型] 16t吊		日	【賃料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0005号 単価表
DHT11482 潜水士船D 270PS型 3～5t吊

1 日 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010130) -00003 軽油 船舶用		L			
(R3008) 潜水世話役		人			
(R0128) 潜水士		人			
(R0129) 潜水連絡員		人			
(R0130) 潜水送気員		人			
(M301296000) 潜水士船 D 270PS型 3～5t吊		日	【損料】		
(M301296000) 潜水士船 D 270PS型 3～5t吊		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 運転・供用の指定	1		運転1日当り		

第0006号 単価表
DH143020 漏えい防止シート敷設

100 m2 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300201800) -00004 漏えい防止シート PP系織布 980N/5cm	130	m2			[1]
(DHT11482) 潜水士船D 270PS型 3~5t吊		日			第0005号単価表 [1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2

第0007号 単価表
 SJ0010 水中コンクリート打設（ポンプ車直接打設）

10 m3 当り
 適用年版 T0602
 (上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300007500) -00005 水中コンクリート 36-15-20 C≥370kg w/c≤50%	10.6	m3			
(R0125) 土木一般世話役	0.5	人			[1]
(R0101) 特殊作業員	0.8	人			[1]
(R0102) 普通作業員	2	人			[1]
(R0128) 潜水士	0.4	人			[1]
(R0129) 潜水連絡員	0.4	人			[1]
(R0130) 潜水送気員	0.4	人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.01	1	式			
合 計					
	1	m3			整数止め切捨て 円/m3

第0008号 単価表
 SJ0030 コンクリートポンプ車運転
 ブーム式 90~110m³/h

1 日 当り
 適用年版 T0602
 (上段:前 回 下段:今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(DHT22660) コンクリートポンプ車ブーム式 90~110m ³ /h	1	日			第0009号単価表 [1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ[1] * 0.01	1	式			
合 計					
	1	日			整数止め切捨て 円/日

第0009号 単価表
 DHT22660 コンクリートポンプ車ブーム式 90~110m³/h

1 日 当り
 適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010090) -00006 軽油 1.2号		L			
(R0114) 運転手(特殊)		人			
(M303592000) コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h		時間	【損料】		
(M303592000) コンクリートポンプ車[トラック架装・ブーム式] 圧送能力90~110m ³ /h		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0010号 単価表
DH106180 伸縮目地

100 m2 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q301102010) 伸縮目地工(発泡体系) t=10mm	100	m2			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
I01 伸縮目地材の指定	2		発泡体系		

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300002500) -00007 生コンクリート(高炉) 21-8-25 (20) W/C指定無し	15.32	m ³			
(Z301020100) 鉄網	78.75	m ²			
(Z302010010) アスファルト乳剤 PK-3		L			
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10040) 雑材料 労務費の% Σ[1] * 0.16	1	式			
合 計					
	1	m ²			円/m ²
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工数量	22.4		22.4	m ²	
J02 レーミストコンクリート量	4.4		4.4	m ³	
J03 コンクリートのスラブ厚	1		25cm	以下	
J04 鉄網の有無	2		有り		
J05 鉄網面積	22.4		22.4	m ²	
J06 舗装厚	1		30cm	以下	

第0012号 単価表
SJ0020 型枠組立組外(重力式)

100 m2 当り
適用年版 T0602
(上段：前回 下段：今回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役	20.5	人			[1]
(R0133) 型わく工	20.5	人			[1]
(R0102) 普通作業員	61.6	人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ[1] * 0.12	1	式			
合 計					
	1	m2			整数止め切捨て 円/m2

第0013号 単価表
DH106190 コンクリート打設

10 m3 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300002500) -00007 生コンクリート(高炉) 21-8-25 (20) W/C指定無し	10.3	m3			
(Q300804020) コンクリート打設(上部工製作) ミキサー車から直接投入	10	m3			
合 計					
	1	m3			円/m3
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 コンクリート打設方式	3		ミキサー車打設		
J02 鉄筋・無筋の選択	2		無筋		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
バックホウ(クローラ型) [標準型・排対型(第2次)]			【損料】		M304070000
標準バケット容量 山積0.28m3/平積0.2m3	M304070000				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z305010250
	Z305010250				
標準単価		積算単価			
	1 m3	当り		円/m3	
条件名称	入力値		条件値		
J01 土質	1		土砂		
J02 施工方法	5		上記以外(小規模)		
J05 施工数量	7		標準		

第0015号 単価表
DKG01175 硬質塩化ビニル管撤去工

10 m 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(DKG01155) パック材運転		日			第0016号単価表
(ZS8000004) 諸雑費(率+まるめ) $\Sigma [1] * 0.03$	1	式			
合 計					
	1	m			円/m
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 呼び径	1		φ100mm		

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0114) 運転手(特殊)		人			
(Z006702002) 軽油		L			
(L001010008) ハックホリ(クローラ) [標準・クレーン機能付き] 山積0.28m3 (平積0.2m3) 1.7t吊		日	【賃料】		
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ)	1	式			
合 計					
	1	日			円/日
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 ハックホリ機種	1		クローラ山積0.28m3・1.7t吊		

第0017号 単価表
DKG01970 取付管布設及び支管取付工 (市場単価)

1 箇所 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(QKG2000100) 取付管布設及び支管取付工(材工共) 管径100〔秋号〕	1	箇所	21,854.4		[1]
(ZS3000004) 諸雑費(まるめ) Σ[1]	1	式			
合 計					
	1	箇所			円/箇所
条 件 名 称	入 力 値	条 件 値			
J01 規格・仕様	1	管径 100mm			
J02 施工規模	2	5箇所未満			
J03 時間的制約を受ける場合の補正	2	無			
J04 夜間作業の補正	2	無			
J05 取付管長が3m未満の場合の補正	2	無			
J06 取付管長が5m以上12m未満の補正	1	有			
J07 本管の材質がコンクリート製・陶製の場合の補正	1	有			
J08 可とう性支管の加算	2	無			

第0018号 単価表 機労材構成比情報
CB010410 現場発生品及び支給品運搬

1 t 当り
適用年版 T0602

名 称 / 規 格	東 京 単 価	構 成 比	地 区 単 価	明 細 情 報	摘 要
トラック[クレーン装置付]			【損料】		M000302010
ベ-ストトラック2t積 吊能力2.9t	M000302010				
特殊作業員					R0101
	R0101				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
標準単価		積算単価			
	1 t	当り		円/t	
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 トラック機種	1		クレーン装置付2t級、吊能力2.9t		
J02 DID区間の有無	2		有り		
J04 片道運搬距離(km)DID有	6		11.5km以下		

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
小型バックホウ(クローラ) [超小旋回型] 山積0.22m ³ (平積0.16m ³)	L001011001		【賃料】		L001011001
普通作業員	R0102				R0102
土木一般世話役	R0125				R0125
特殊作業員	R0101				R0101
運転手(特殊)	R0114				R0114
軽油	Z006702002				Z006702002
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条件名称	入力値		条件値		
J01 再利用区分	2		再利用		

第0020号 単価表 機労材構成比情報
CD422510W 歩車道境界ブロック

1 m 当り
適用年版 T0602

名称 / 規格	東京単価	構成比	地区単価	明細情報	摘要
小型バックホウ(クローラ) [後方超小旋回クレーン機能付]			【賃料】		L001011005
山積0.09m3(平積0.07m3) 0.9t吊	L001011005				
バックホウ(クローラ) [標準]			【賃料】		L001010007
山積0.8m3(平積0.6m3)	L001010007				
特殊作業員					R0101
	R0101				
普通作業員					R0102
	R0102				
土木一般世話役					R0125
	R0125				
運転手(特殊)					R0114
	R0114				
軽油					Z006702002
	Z006702002				
再生クラッシュヤーン					Z002122003
RC-40	Z002122003				
標準単価		積算単価			
	1 m	当り		円/m	
条件名称	入力値	条件値			
J01 作業区分	2	再利用設置			
J02 ブロック規格	2	B種(180/205×250×600)			
J03 m当り歩車道境界ブロック使用量		個/m			
J04 基礎砕石規格	2	再生クラッシュヤーン RC-40			
J05 均し基礎コンクリート規格	6	無し			

第0021号 単価表
DH113040 路盤材敷均し転圧(人力)

757 m2 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y30006800) -00008 再生クラッシュラン(舗装) RC-40	94.63	m3			[1]
(DHT21800) 振動ローラ(排出ガス対策型)搭乗式 コンバインド型		日			第0022号単価表 [1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 施工数量	83		83 m2		
J02 路盤材の実容積	8.3		8.3 m3		
J03 路盤材の種類	5		再生クラッシュラン		
J04 路盤材の割増率			%		
J05 路盤材の割増率	25		25 %		
J06 路盤材の割増率			%		
J07 路盤材の割増率			%		
J08 路盤材の割増率			%		
J09 作業難易度	1		標準		
J10 転圧層数	1		1 層		

第0022号 単価表
 DHT21800 振動ロー(排出ガス対策型) 搭乗式 コンバインド型 3～4t

1 日 当り
 適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010090) -00006 軽油 1.2号		L			
(R0114) 運転手(特殊)		人			
(M303640000) 振動ロー[搭乗・コンバインド式・排対型(第1次)] 運転質量3～4t		時間	【損料】		
(M303640000) 振動ロー[搭乗・コンバインド式・排対型(第1次)] 運転質量3～4t		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0023号 単価表
DH113210 人力舗設

100 m2 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Y300200500) -00009 再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)	11.55	t			
(Z302010020) アスファルト乳剤 PK-4		L			
(DHT21840) タンパ° 60~80kg		日			第0024号単価表 [1]
(R0125) 土木一般世話役		人			[1]
(R0101) 特殊作業員		人			[1]
(R0102) 普通作業員		人			[1]
(ZS7H10010) 雑材料 特定項目の% Σ [1] * 0.06	1	式			
合 計					
	1	m2			円/m2
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 アスファルト混合材の種類	2		密粒度アスファルトコンクリート		
J02 舗装厚(層別)	5		5 cm		
J03 設計密度	2.2		2.20 t/m3		
J04 施工区分	2		表層・中間層施工前		
J05 仕上げ厚	1		t ≤ 5cm		

第0024号 単価表
DHT21840 タンパ 60～80kg

1 日 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Z304010050) -00010 ガソリン レキユラー		L			
(R0101) 特殊作業員		人			
(R0102) 普通作業員		人			
(M303650000) ランマ 質量60～80kg		日	【損料】		
(M303650000) ランマ 質量60～80kg		供用日	【損料】		
合 計					
	1	日			円/日

第0025号 単価表
SJ0040 汚濁防止膜運搬

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0010) 貨物自動車運賃 10kmまで 4 t (片道)	1	台			往路
(TJ0010) 貨物自動車運賃 10kmまで 4 t (片道)	1	台			復路
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

第0026号 単価表
DH190150 汚濁防止膜設置

120 m 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q302202010) 汚濁防止膜設置 陸上クレーン込み	120	m			
合 計					
	1	m			円/m

第0027号 単価表
DH190160 汚濁防止膜撤去

120 m 当り
適用年版 T0602

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(Q302203010) 汚濁防止膜撤去 陸上クレーン込み	120	m			
合 計					
	1	m			円/m

第0028号 単価表
SJ0050 汚濁防止膜賃料

1 式 当り
適用年版 T0602
(上段：前 回 下段：今 回)

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(TJ0020) 汚濁防止膜基本料 (単独7メートル×20m) 引張強さ1,000以上2,000未満 (N/3cm)	1	スパン			
(TJ0030) 汚濁防止膜加算額 (単独7メートル×20m) 引張強さ1,000以上2,000未満 (N/3cm)	4	スパン・日			4日×1スパン
合 計					
	1	式			整数止め切捨て 円/式

名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
(R0804) 交通誘導警備員B		人			[1]
(ZS7H10030) 雑材料 全体の% Σ [1] * 0.005	1	式			
合 計					
	1	式			円/式
条 件 名 称	入 力 値		条 件 値		
J01 交通誘導警備員B	20	20 人			

登 録 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	資源区分	管理費区分	摘 要
L302010020 -00001	型枠賃料(1枚1日当り賃料)	枚	T0602	3	機械器具 損料	全間接費対 象	部独自
L302010030 -00002	型枠賃料(1枚当り基本料)	枚	T0602	185	機械器具 損料	全間接費対 象	部独自
TJ0010	貨物自動車運賃 10kmまで 4 t (片道)	台	T0602	9,300	その他施 工単価等	現場、一般 対象	
TJ0020	汚濁防止膜基本料 (単独700t1m×20 m) 引張強さ1,000以上2,000未満 (N/3 cm)	スパン	T0602	97,900	資材単価	全間接費対 象	部独自
TJ0030	汚濁防止膜加算額 (単独700t1m×20 m) 引張強さ1,000以上2,000未満 (N/3 cm)	スパン・日	T0602	1,520	資材単価	全間接費対 象	部独自
Y300002500 -00007	生コンクリート(高炉) 21-8-25(20) W/C指定無 し	m ³	T0602	17,950	資材単価	全間接費対 象	
Y300006800 -00008	再生クワッシュレン(舗装) RC-40	m ³	T0602	1,420	資材単価	全間接費対 象	
Y300007500 -00005	水中コンクリート 36-15-20 C≥370kg w/c≤50%	m ³	T0602	25,000	資材単価	全間接費対 象	見積り
Y300200500 -00009	再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン(13)	t	T0602	12,200	資材単価	全間接費対 象	
Y300201800 -00004	漏えい防止シート PP系織布 980N/5cm	m ²	T0602	160	資材単価	全間接費対 象	部独自
Z304010050 -00010	ガソリン レギュラー	L	T0602	153	資材単価	全間接費対 象	
Z304010090 -00006	軽油 1.2号	L	T0602	138	資材単価	全間接費対 象	
Z304010130 -00003	軽油 船舶用	L	T0602	107	資材単価	全間接費対 象	

市 独 自 単 価 一 覧 表

単価コード	名 称	単 位	適用年版	単 価	備 考
UZA000380	産業廃棄物処分費 廃プラスチック類	kg	T0602	60	[管]T処分費等 [資]仮設材単価等